

精神医学系

部門紹介

日本大学医学部精神医学系は、昭和26年10月に創設され、優れた精神科臨床医を育てるという伝統のもと、精神科の各分野で多くの優れた人材を輩出してきました。総合病院内に精神科閉鎖病棟を持つという利点を生かし、急性期の重症例も含め臨床経験や、総合病院の各科における精神医学的問題への対処についても広く学ぶことができます。各種の勉強会を通じて専門的な臨床や研究活動に参加できます。精神科に興味のある方は、わたくしたちと一緒に新しい精神医学を創る作業に参加してみませんか。

教育スタッフ

鈴木正泰（教授）、金子宜之（准教授）、横瀬宏美（助教）、久保英之（助教）、鈴木貴浩（助教）、金森正（助教）、早乙女優太（助手）、宮本武（助手）、永井康（助手）、斎藤かおり（助手）

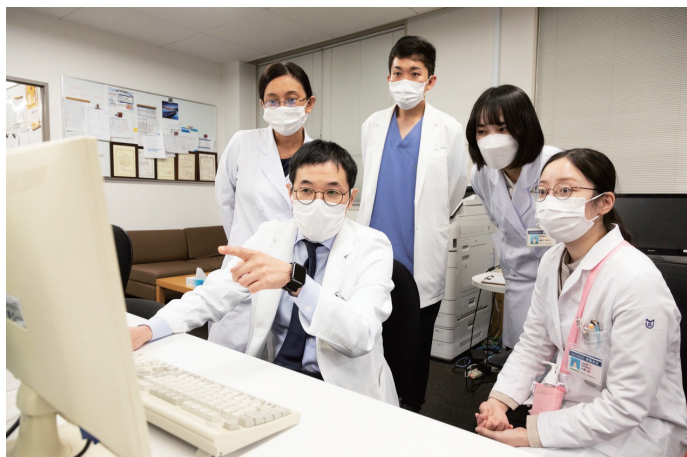
当教室での研修

1. 後期研修プログラム

当教室の研修プログラムは、教室のネットワークを駆使し、精神保健指定医（厚生労働省）および精神科専門医（日本精神神経学会）を最短の3年間で取得できるように工夫されています。私たちの精神科病棟は総合病院内にあり、かつ閉鎖病棟であることから、医療保護入院が必要な内因性精神障害（統合失調症や気分障害）のほか、他科との連携が必要な器質・症状性精神障害や思春期精神障害などの症例も多く経験することが出来ます。そのため、精神保健指定医や精神科専門医を取得する上で経験が求められているほとんどの疾患の診療を板橋病院で経験することが出来ます。

サブスペシャリティ領域の専門家となるためのプログラムも充実しており、各専門領域の教育スタッフによる指導の下、様々なサブスペシャリティ専門医を取得することが出来ます。睡眠障害や児童精神医学領域については国内トップレベルの専門施設での研修も可能です。

なお、医局員のライフイベントについては最大限に配慮しており、結婚・出産・育児をしながら研修を続けられるようにバックアップしています。数多くの医局員が育児をしながら研修しており、各自のペースで資格の習得を果たしています。



2. 年次ごとの研修プラン

研修1年目：板橋病院にて精神医学及び精神医療の基本を学びます。病棟診療グループの一員として、上級医の下で、主に入院診療に従事しながら精神科医になるために必要な知識や技能を習得します。また、研修開始3ヶ月目から週1日、精神科専門病院・一般病院精神科において地域医療の研修を開始し、精神医学の知識と実践を結びつけるようにトレーニングします。

研修2～3年目：板橋病院での研修に加え、精神科専門病院・一般病院精神科において地域医療を中心とした研修を行います。入院診療とともに外来診療を開始し、上級医の指導を受けながら精神科診療における問題解決能力の向上を目指します。また、症例報告等についての指導を受け、日本精神神経学会学術総会をはじめとした学会で発表を行うなど、専門医になるための準備を進めます。さらに希望者については睡眠障害医療、児童・思春期診療、痛みセンターにおける疼痛医療、精神科リエゾン活動、緩和医療に参画し、サブスペシャリティ習得の基礎を積みます。

研修4年目：精神保健指定医および精神神経学会認定専門医を取得します。板橋病院は日本精神神経学会の研修指定施設であり、経験症例は専門医試験のケースレポートとして提出できます。各々のケースレポートの指導は、上級医が責任をもって行います。

研修5年目以降：各自の希望に応じ、国外留学・研修、関連のある国内研究施設への留学・研修、関連病院での専門研修や地域医療の実践など、良き臨床医として、優れた研究者としての将来に結びつく研修を行います。近年教室員が留学した施設としては、ハーバード大学、ロンドン大学、ミラノ大学、ピッツバーグ大学、パリ(デカルト)大学などがあります。また、国立精神・神経医療研究センターや都立小児総合医療センターなど、国内の専門施設への国内留学も活発に行われております。板橋病院では、これまでの研修を生かして臨床の技能を発揮し、グループリーダーとして研修医や若手の指導にあたります。また、サブスペシャリティ領域の専門医取得など、専門領域の研鑽に努めます。



3. 取得できる資格

1) 精神保健指定医

主たる研修施設である板橋病院は、精神科閉鎖病棟を有する総合病院であるため、精神保健指定医取得に必要な症例の殆どを経験することができます。レポート作成については教室のスタッフが十分な指導を行い最短期間で取得ができるようにします。

2) 精神科専門医

板橋病院は、日本精神神経学会の研修指定病院に認定されています。指定されたガイドラインに沿って3年間の臨床研修、指定の症例レポートの作成、精神神経学会の専門医試験を経て精神科専門医が取得できます。専門医取得に関しても、教室スタッフの指導および板橋病院精神科病棟の豊富な症例経験が大きな力となります。

3) その他の学会専門医

日本老年精神医学会専門医、日本総合病院精神医学会専門医、日本臨床精神神経薬理学会専門医、日本睡眠学会専門医などに関しても、すみやかに資格取得ができるよう、指導医資格を持つ教室スタッフが丁寧に指導します。

4. 後期研修をサポートするシステム

1) 教授回診・カンファレンス

毎週月曜日の午後に教授回診が行われます。若手主治医が症例を呈示し、経過を確認しながら臨床的問題点や治療計画について討論し、必要に応じて方針の修正を行います。実際の診察や検査所見に基づき診断や治療方針について徹底的に議論することで、専門医としての診療方針の決定法について学びます。

2) 症例検討会・抄読会

毎週月曜の昼から症例検討会・抄読会を行っています。症例検討会では、経験した症例を医局員が持ち回りで呈示し、熱心な議論が行われます。学会発表などで役に立つ症例呈示の方法、および多面的な臨床の視点を学びます。臨床的意義の高い症例は、症例報告として論文投稿することになります。抄読会では、臨床の中で興味を持ったテーマについて最新の論文を紹介し、知識の共有化をはかります。最新の興味深い知見については総説論文としてまとめるよう指導します。

3) 新入医局員向けクルーズ

精神科医として臨床で活躍する上で必要な基礎を固めるために、入局後2ヶ月間、上級医が主催する勉強会で集中的に研修します。疑問点が生じた際は、気軽に質問することもできるようなアットホームな雰囲気勉強会です。これによって精神科臨床で核となる基本事項、当直業務に必要な救急時の対応を学びます。

5. 研究・学位取得

研究に関しては、教室の教育スタッフが責任を持って学位取得に向けて指導します。博士論文作成に必要な場合は、国内外の施設への短期留学などで研究方法についてマスターしてもらいます。4年間で研究を行う能力を磨き博士号を取得するとともに、精神保健指定医と精神科専門医の資格をとるコースも用意されています。研究と臨床の両方で忙しい4年間となりますが、是非ともチャレンジしてもらいたいと思います。

6. 研修施設

- ・ 日本大学医学部附属板橋病院（精神科専門医研修プログラムの基幹施設）
- ・ 日本大学病院
- ・ 研修連携施設（精神科専門病院）： 高月病院、薫風会山田病院、慈雲堂病院、東京足立病院、サンピエール病院、田崎病院、恩田第二病院、北辰病院
- ・ 研修連携施設（一般病院精神科）： 菅野病院



問い合わせ先

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1
 日本大学医学部 精神医学系精神医学分野
 メール：kaneko.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp 医局長：金子 宜之
 医局ホームページ：http://www.med.nihon-u.ac.jp/~psycho/index.html
 TEL：03-3972-8111（内線 2431）
 FAX：03-3974-2920